

第286圖

をみなへし科



をどこへし (敗醬)

一名 をとこめし

*Patrinia villosa* Juss.

山野ニ生ズル多年生草本ニシテ、株本ヨリ長キ匍枝ヲ地上ニ出シテ繁殖ス。莖ハ直立シテ高サ1m内外ニ及ブ。葉ハ對生シ、往々羽狀ニ分裂シ、裂片ハ卵狀長橢圓形ヲ成シ、頂片最モ大ナリ、莖ト共ニ細毛多シ。秋時白色ノ細小花ヲ梢頭ニ攢簇シ、繖房花穂ヲ成ス。花冠五裂シ、筒部短シ。四雄蕊、一花柱アリ。子房ハ下位。花後果下ノ小苞擴大シテ團扇狀ヲ呈ス。飢饉時ニ葉ヲ食用トス。處ニヨリとちなノ方言アリ。

第287圖

をみなへし科



きんれいくわ

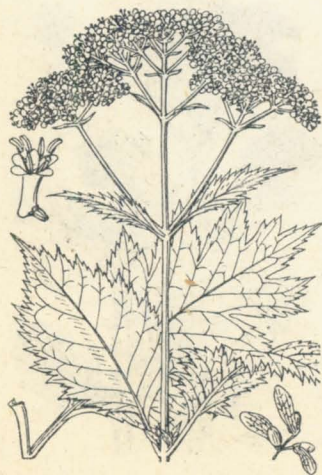
一名 はくさんをみなへし

*Patrinia palmata* Maxim.

各地ノ高山又ハ山地ニ見ル多年生草本。莖ノ高サ30cm内外、葉ハ對生シテ長柄ヲ具ヘ、掌狀ヲ成シテ三-五中裂シ、裂片ハ粗鋸齒ヲ有ス。葉裏ノ脈上ニ粗毛アリ。夏時黄色ノ細小花ヲ梢上ニ綴リ繖房花穂ヲ成ス。花冠ハ五裂シ、下部ハ筒ヲ成シ、且ツ短キ小距アリ。果實ハ橢圓形ニシテ翼狀ヲ呈セル一苞ヲ伴フ。一種花冠ノ距極テ短ク、只膨起スルノミナルアリ、之レヲこきんれいくわト云フ。和名ハ金鈴花ノ意ニテ花狀ニ基ク。漢名 地花菜 (誤用)

第288圖

をみなへし科



まるばきんれいくわ

*Patrinia gibbosa* Maxim.

北部山中ノ濕潤地ニ生ズル多年生草本。全草殆ンド毛無ク一種ノ異臭アリ。莖ハ直立シテ圓柱形、高サ30-50cm許。葉ハ疎ニ對生シテ柄ヲ具ヘ廣橢圓形或ハ卵圓形、長サ10-15cm、羽狀ニ淺裂シ、裂片ハ三角形ヲ呈シ更ニ鋸齒ヲ刻ム、表面黄綠色裏面ハ淡綠色ニシテ脈絡鮮明ナリ。八月、梢頭ニ平頂ノ繖房花序ヲ成シ細小花ヲ綴ル。花冠ハ高脚盆狀ニシテ基部ニハ圓キ短距アリ。裂片ハ五箇、圓ク、外反ス。雄蕊ハ四箇、花冠ヨリ超出ス。果實ニハ增大セル宿存萼片アリテ膜質翅狀ヲ成シ附屬ス。和名ハ圓葉金鈴花ニシテ其圓葉ハ同屬きんれいくわノ深裂葉ニ對比シテ謂ヒ、敢テ全邊ナル圓形葉ヲ意味スルニハ非ザルナリ。

ちしまきんれいくわ

一名 たかねをみなへし

*Patrinia sibirica* Juss.

北海道ノ高山等ニ生ズル多年生草本。莖低ク、其高サ10cm内外アリ。葉ハ對生シ、莖ノ脚部ニ相集リテ叢生スルヲ常トス。倒卵形ニシテ、往々羽狀ニ分裂ス。夏時、葉中ニ花莖ヲ出シ、頂ニ黄色ノ數花ヲ簇生シ、花叢下ニ羽狀セル葉狀苞ヲ有ス。合瓣花冠ハ五裂シ、四雄蕊アリ。子房ハ下位ナリ。

第289圖

をみなへし科



れんぶくさう

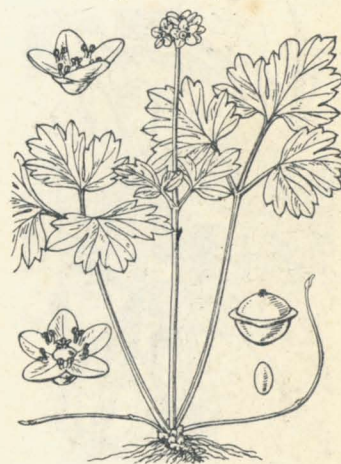
一名 ごりんばな

*Adoxa Moschatellina* L.

山地ニ生ズル多年生草本。根莖ハ白色横走シ、末端肥厚シ、粗ニ鱗片ヲ有ス。莖高サ17cm内外。根生葉ハ長柄ヲ有シ、三箇又ハ九箇ノ小葉ヨリ成リ、莖葉ハ三裂ス。初夏ノ候、黄綠色ノ小花ヲ莖頂ニ開キ、五箇相聚團ス。上位ノ一花ハ花冠四裂シテ八雄蕊ヲ有シ、側方ノ四花ハ五裂シテ十雄蕊アリ。果實ハ乾質ノ核果ニシテ、三乃至五ノ小堅果ヨリ成ル。和名ハ其苗偶然福壽草ニ連ナリ來リタルヲ見シ人始メテ連福草ノ名ヲ唱ヘ出セシト云フ。

第290圖

れんぶくさう科



第291圖

きばなうつぎ

*Calyptrostigma*

*Maximowiczii* Makino.

本邦中部ノ深山ニ生ズル落葉灌木。高サ1.5m内外ニシテ枝ヲ分チ、葉ハ對生シ、橢圓狀卵形ニシテ末尖リ、上部ノ葉ニハ葉柄ナシ。邊緣ニ鋸齒アリ、質薄クシテ毛アリ。夏日、花ヲ枝上葉腋ニ出シ、數多カラズ。花冠ハ黄色漏斗狀ヲ成シテ五裂シ、花中ニ五雄蕊アリテ聚葯ス。下位子房ノ頂ニアル萼片ハ相合シテ一方ノ裂ケタル筒ヲ成ス。

すひかづら科

